

# 平成28年度 第2回恵那市上下水道事業等経営審議会会議録

日 時 平成29年2月14日(火)  
午前10時から午前11時30分  
場 所 市役所西庁舎4階 4A会議室

出席委員 水野泰正、黄地尚幸、平野壬一、水野始郎、伊藤常光、森井俊介、瀬藤錬一、  
藤井 隆、池戸克行、平井一兵、三園了三、堀 眞人、安藤仁志、安藤誠一郎、  
日置正治、伊藤 顕 16名出席  
欠席委員 藤下和也、堀 利光 2名欠席

事務局 大塩副市長(委嘱書交付・あいさつまで)  
鷺見基盤整備部長、成瀬上下水道課長、原課長補佐兼事業係長、  
鈴木下水道総務係長、安藤水道総務係長、田村総括主査、伊藤主査  
傍聴者 3名

## 次第

- ・委員の委嘱
- ・会長あいさつ
- ・市長あいさつ(大塩康彦副市長)
- ・会議の成立

## ■議事審議

1. 平成27年度決算及び事業実施状況について(報告)
  - 1) 恵那市水道事業、2) 恵那市簡易水道事業(事務局説明)

### ※質疑応答

委 員・滞納額の総額は、前年度比較増えているのか減っているのか。

- ・滞納の徴収戦略はどのようなか
- ・一番多い滞納者はどれくらいの滞納があるのか。

事務局・滞納額はH26、H27ほぼ同じで、徴収率は若干上昇である。

- ・滞納者は基本的に停水予告を発送して納付してもらう方法が多いが、督促の発送や法的手段を使いながら行っている。

・H27上水滞納額は10,000千円ほど。

・多い人で1,000千円ほど

委 員・どうしても払えない人は不納欠損するのか。

事務局・支払いがある場合はそのままです。

委 員・有収率が下がったが何か対応しているのか。

事務局・すべてのエリアで3年に1回は調査に回って発見した箇所を修理

委 員・創設当時の管があると思いますが、整備できているか。

事務局・本管は国庫補助を利用し基幹管路の整備を行っている。ポリエチレン管を使い整備した古い管は膜が剥がれて詰まる様なことがあるので、そういう管は布設替えを対応している。

委 員・鋳鉄管はまだあるのか。

事務局・あります。

3) 恵那市公共下水道事業 4) 恵那市農業集落排水事業 (事務局説明)

※質疑応答

委員・供用開始年度と処理方式は。一番古い処理区は。

事務局・一番古いのは昭和54年供用開始で奥戸処理区です。岩村が平成6年、あとは平成15, 16年で、竹折が一番新しく平成19年です。

委員・富田飯羽間の処理場跡はどうなるか。

事務局・補助を受けているので壊せない。現在倉庫として使用している。

委員・数字多く分かりづらい。経営について順調かどうか聞きたい。

・簡水は4月から上水に料金統一される。課題などあるか。

事務局・次の議題で説明します。

2. 経営戦略の策定について (報告)

1) 恵那市水道・簡易水道事業下水道事業の経営について (事務局説明)

※質疑応答

委員・使用料の適正化とは。

事務局・特別会計は収支0にするため一般会計が補填している。企業会計化すると単純にはできないが、使用料は東濃で一番高い水準にある。企業会計化する際、経営状況を再検討して適正な料金を検討したい。

その他 (事務局説明)

閉会